

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	福岡県	市町村名	福岡市	計画の名称	災害に強く市民の安全・安心を支える道づくり			
計画期間	平成30年度～令和04年度（5年間）			全体事業費	16,271百万円	国費率	0.50	
交付期間	平成30年度～令和04年度（5年間）	事後評価実施時期	令和4年度	交付対象事業費	16,271百万円	国費率	0.50	
1)事業の実施状況	対象事業	要素事業名						
		A.地方道整備事業	(国)263号ほか、(主)志賀島和白線ほか、(他)三筑1683号線ほか、(主)福岡太宰府線ほか、(主)大野城二丈線ほか、(1)千代今宿線(興徳寺橋)、(1)千鳥橋唐人町線ほか、(2)黒門福浜線ほか、(国)385号ほか、(1)香椎箱崎浜線ほか、(主)福岡早良大野城線ほか					
		B.関連社会資本整備事業						
		C.効果促進事業						
		その他関連する事業						
	進捗状況	要素事業名		事業内容(延長・面積等)		事業進捗(R04年度末予定)		
		A.地方道整備事業	(国)263号ほか	舗装修繕:2.12km	整備中			
			(主)志賀島和白線ほか	舗装修繕:74.40km	整備中			
			(他)三筑1683号線ほか	舗装修繕:165.95km	整備中			
			(主)福岡太宰府線ほか	橋梁耐震化:4橋(L=15m以上)	完了			
			(主)大野城二丈線ほか	橋梁耐震化:70橋(L=15m未満)	完了			
			(1)千代今宿線(興徳寺橋)	橋梁耐震化:1箇所	整備中			
			(1)千鳥橋唐人町線ほか	照明灯整備(LED化):12,500基	完了			
			(2)黒門福浜線ほか	大規模構造物:(ボックスカルバート)修繕	整備中			
(国)385号ほか			大規模構造物:(アンダーパス)修繕	完了				
(1)香椎箱崎浜線	橋梁耐震化 N=25		整備中					
(主)福岡早良大野城線ほか	大型施設点検 N=19	完了						
B.関連社会資本整備事業								
C.効果促進事業								
その他関連する事業								
2)事業の効果発現状況	指標名・算定式		当初現況値(H30年当初)	目標値(R04末)	実績値(R04末予定)	目標値と実績値に差が出た要因		
	幹線道路における要修繕延長比率(%) = (対策済み要修繕延長) / (要素事業の要修繕総延長) × 100		0%	100%	8%	・R01に改定した個別施設計画(計画期間R02～R04)において管理基準を見直したため。 ・地元調整・関係者との協議に時間を要する箇所が複数あり、工事の進捗に遅れが生じたため。		
	生活道路における要修繕延長比率(%) = (対策済み要修繕延長) / (要素事業の要修繕総延長) × 100		0%	100%	51%	・地元調整・関係者との協議に時間を要する箇所が複数あり、工事の進捗に遅れが生じたため。		
	橋梁診断の実施率(%) = (診断済み橋梁数) / (要素事業の診断予定総橋梁数) × 100		0%	100%	100%	-		
	照明灯LED化の整備計画達成率(%) = (整備済み基数) / (要素事業の計画整備基数) × 100		0%	100%	100%	-		
	要修繕大規模施設(ボックスカルバート)の修繕率(%) = (修繕済み施設数) / (要素事業の要修繕予定総施設数) × 100		0%	100%	0%	・工事着手時において詳細設計時から損傷が進行し、補修する範囲が増えたことで、想定よりも工事に時間を要していることから、工事の進捗に遅れが生じたため。		
	要修繕大規模施設(アンダーパス)の修繕率(%) = (修繕済み施設数) / (要素事業の要修繕予定総施設数) × 100		0%	100%	100%	-		
	要対策橋梁整備率(%) = (対策済み橋梁数) / (要素事業の要対策橋梁数) × 100		0%	4%	4%	-		
	大型施設における点検実施率(%) = (点検済み施設数) / (要素事業の点検予定施設数) × 100		0%	100%	100%	-		
	成果目標以外の要素事業の効果発現状況(定性的な効果)		・幹線道路や生活道路の舗装修繕による、安全で信頼の高い道路空間の確保。 ・橋梁診断による、橋梁の効率的かつ効果的な耐震対策。 ・橋梁や要修繕大規模施設等の修繕及び照明灯のLED化による、災害に強く安全性の高い道路空間の確保。					
関連社会資本整備事業、効果促進事業の効果発現状況(定性的な効果)		-						
3)その他	今後の事業予定等		・整備中の路線については、引き続き国の交付金を活用しながら、地元関係者等との協議・調整を図り、早期完了に努める。					

※完了予定については、計画予算が確保された場合の目標であり、事業の進捗状況、財政事情等により適宜見直しを行います。

様式2-2 計画の概要

災害に強く市民の安全・安心を支える道づくり					
事業の目的	成果指標・算定式	当初現況値 (H30年当初)	目標値 (R04末)	実績値 (R04末予定)	目標値と実績値に差が出た要因
近年、市民の震災等の災害に対する危機感や関心が高まってきているなかで、道路や橋梁等の老朽化が進んでおり、効率的かつ効果的な維持管理が求められている。また、道路照明灯についても老朽化が進んでおり、劣化による倒壊事故や照度低下による危険性の高まりから、改善が求められている。福岡市では、路面性状調査を実施しながら舗装の損傷を適確に判断し、計画的な修繕を実施することで安全で信頼の高い道路空間の確保を図るとともに、緊急輸送道路等の橋梁耐震化や道路照明灯のLED化を推進し、災害に強く安全性の高い道路空間の形成を図る。	幹線道路における要修繕延長比率(%) = (対策済み要修繕延長) / (要素事業の要修繕総延長) × 100	0%	100%	8%	・ R01に改定した個別施設計画(計画期間R02~R04)において管理基準を見直したため。 ・ 地元調整・関係者との協議に時間を要する箇所が複数あり、工事の進捗に遅れが生じたため。
	生活道路における要修繕延長比率(%) = (対策済み要修繕延長) / (要素事業の要修繕総延長) × 100	0%	100%	51%	・ 地元調整・関係者との協議に時間を要する箇所が複数あり、工事の進捗に遅れが生じたため。
	橋梁診断の実施率(%) = (診断済み橋梁数) / (要素事業の診断予定総橋梁数) × 100	0%	100%	100%	-
	LED化の整備計画達成率(%) = (整備済み基数) / (要素事業の計画整備基数) × 100	0%	100%	100%	-
	要修繕大規模施設(ボックスカルバートの修繕率(%) = (修繕済み施設数) / (要素事業の要修繕予定総施設数) × 100	0%	100%	0%	・ 工事着手時において詳細設計時から損傷が進行し、補修する範囲が増えたことで、想定よりも工事に時間を要していることから、工事の進捗に遅れが生じたため。
	要修繕大規模施設(アンダーパス)の修繕率(%) = (修繕済み施設数) / (要素事業の要修繕予定総施設数) × 100	0%	100%	100%	-
	要対策橋梁整備率(%) = (対策済み橋梁数) / (要素事業の要対策橋梁数) × 100	0%	4%	4%	
大型施設における点検実施率(%) = (点検済み施設数) / (要素事業の点検予定施設数) × 100	0%	100%	100%	-	



(主) 志賀島和白線ほか(写真: (1) 千代今宿線)



(国) 385号(アンダーパス)



区分	番号	事業種別	要素事業名	事業内容 (延長・面積等)	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	R04年度末での 供用状況(予定)
					H30	R01	R02	R03	R04		
A. 地方道路整備事業	5-A1	道路	(国) 2 6 3 号ほか	舗装修繕: 2.12km						186	整備中
	5-A2	道路	(主) 志賀島和白線ほか	舗装修繕: 74.40km						4,452	整備中
	5-A3	道路	(他) 三筑1 6 8 3号線ほか	舗装修繕: 165.95km						7,609	整備中
	5-A4	道路	(主) 福岡太宰府線ほか	橋梁耐震化: 4橋 (L=15m以上)						13	完了
	5-A5	道路	(主) 大野城二丈線ほか	橋梁耐震化: 70橋 (L=15m未満)						70	完了
	5-A6	道路	(1) 千代今宿線(興徳寺橋)	橋梁耐震化: 1箇所						696	整備中
	5-A7	道路	(1) 千鳥橋唐人町線ほか	照明灯整備(LED化): 12,500基						2,500	完了
	5-A8	道路	(2) 黒門福浜線ほか	大規模構造物(ボックスカルバート)修繕						113	整備中
	5-A9	道路	(国) 3 8 5 号ほか	大規模構造物(アンダーパス)修繕						64	完了
	5-A10	道路	(1) 香椎箱崎浜線	橋梁耐震化: N=25						519	整備中
	5-A11	道路	(主) 福岡早良大野城線ほか	大型施設点検: N=19						49	完了
B. 関連社会資本整備事業				なし							
C. 効果促進事業				なし							
その他関連する事業				なし							

**主な事業効果**

- ・ 幹線道路及び生活道路の舗装修繕により、道路の長寿命化が図られ、安全で信頼の高い道路空間が確保された。
- ・ (主) 福岡太宰府線等の橋梁診断や大型施設の点検実施により、今後、効率的かつ効果的な橋梁の耐震対策や大型施設の維持管理が図られる。
- ・ (1) 千鳥橋唐人町線等での照明灯のLED化等により、老朽化に伴う落下や災害時の電力不足などの危険性が低下し、災害に強く安全性の高い道路空間が確保された。

※完了予定については、計画予算が確保された場合の目標であり、事業の進捗状況、財政事情等により適宜見直しを行います。